



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マーベラス

コード番号 7844 URL <https://corp.marv.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 中山 晴喜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 CFO 管理統括本部長 (氏名) 加藤 征一郎 TEL 03-5769-7447

四半期報告書提出予定日 2019年2月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	20,193	16.1	4,210	42.1	4,285	43.3	2,842	40.4
2018年3月期第3四半期	17,390	△19.6	2,962	△22.5	2,990	△23.7	2,025	△28.2

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 2,895百万円 (41.6%) 2018年3月期第3四半期 2,044百万円 (△28.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	54.96	—
2018年3月期第3四半期	39.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	26,293	19,583	74.5	378.60
2018年3月期	25,488	18,414	72.2	355.93

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 19,581百万円 2018年3月期 18,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△1.2	4,500	△12.6	4,500	△11.9	2,980	△15.2	57.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	53,593,100株	2018年3月期	53,593,100株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,872,421株	2018年3月期	1,872,421株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	51,720,679株	2018年3月期3Q	51,720,680株

（注）期末自己株式数については、「株式給付信託（BBT）」の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有している500,000株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(四半期連結貸借対照表関係)	6
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	7
(株主資本等関係)	7
(セグメント情報等)	8
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるエンターテインメント業界は、国内のモバイルゲーム市場におきましては、依然として厳しい競争環境が続く中、中国、韓国をはじめとしたアジア勢のゲームが引き続き存在感を見せました。国内家庭用ゲーム市場におきましては、大型タイトルの発売が相次ぎ、ハード・ソフト市場ともに好調に推移しました。また、アミューズメント市場におきましては、好調を維持してきたプライズゲームの成長にやや落ち着きが見られたものの、市場規模は横ばいで推移いたしました。音楽映像市場におきましては、アニメのパッケージ市場の縮小傾向が続く中、国内外の番組販売や配信など、収益の多極化が進んでおります。ライブエンターテインメント市場におきましては、会場不足やチケット転売等の問題をかかえながらも、その盛況ぶりは衰えることなく継続いたしました。

このような状況下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を基軸とした総合エンターテインメント企業として、強力なIPの確立に向けたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年12月31日）の経営成績は、売上高20,193百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益4,210百万円（前年同期比42.1%増）、経常利益4,285百万円（前年同期比43.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,842百万円（前年同期比40.4%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①オンライン事業

当事業におきましては、「剣と魔法のログレス いにしへの女神」をはじめとする主力の長期運営タイトルの売上高が減少いたしました。前期にリリースしたタイトルの中では「シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK」が好調に推移いたしました。他の新作タイトルは十分な収益貢献ができず、一部タイトルについては他社への運営移管を行い、当社における開発費を一括償却いたしました。一方で、アジア地域を中心とした海外展開を積極的に進めてまいりました。

この結果、当事業の売上高は6,908百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益は877百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

なお、第3四半期においては、低迷するオンライン事業の立て直しのため、構造改革に着手するとともに、早期退職優遇制度を実施いたしました（早期退職優遇制度の実施に伴う費用は、特別損失として計上しております）。

②コンシューマ事業

当事業の自社販売部門におきましては、国内では「Fate/EXTELLA」シリーズ新作の「Fate/EXTELLA LINK（フェイト/エクステラ リンク）（PS Vita・PS4）」を2018年6月に、完全新作となる「リトルドラゴンズカフェ -ひみつの竜とふしぎな島-（Nintendo Switch・PS4）」を同年8月に発売したほか、「閃乱カグラ」シリーズの新作「PEACH BALL 閃乱カグラ（Nintendo Switch）」を同年12月に発売いたしました。また、昨年国内で発売しヒットした「シノビリフレ -SENTRAN KAGURA-」の海外版を同年9月に北米・欧州で配信を開始いたしました。加えて、ソフトウェア資産等の売却に伴う一時的な収益が発生いたしました。

アミューズメント部門におきましては、「ポケモンガオーレ」が稼動開始から3年を経過しながらも、過去最高水準の好調な業績推移となりました。また、「ポケモントレッタ」の海外展開や、前期に新発売した「TRYPOD」の国内外での販売も順調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は7,913百万円（前年同期比35.5%増）、セグメント利益は2,651百万円（前年同期比64.8%増）となりました。

③音楽映像事業

当事業の音楽映像制作部門におきましては、TVアニメ『HUGっと！プリキュア』等のパッケージ商品化を行ったほか、当社主幹事TVアニメ『東京喰種トーキョーグール:re』を2018年4月より、『千銃士』を同年7月より放送し、それぞれパッケージ商品化を行いました。また、同年10月には、TVアニメ『東京喰種トーキョーグール:re』第2期の放送を行ったほか、映画『HUGっと！プリキュア♡ふたりはプリキュア オールスターズメモリーズ』が公開となりました。

ステージ制作部門におきましては、「舞台『刀剣乱舞』」、「ミュージカル『テニスの王子様』」、「『あんさんぶるスターズ！オン・ステージ』」等、各シリーズの最新公演を実施いたしました。本年度の新作といたしましては、「舞台『戦刻ナイトブラッド』」を2018年8月より、「『家庭教師ヒットマンREBORN!』the STAGE」を同年9月より公演し、それぞれご好評をいただきました。また、各シリーズのパッケージ商品や映像配信等の二次利用も好調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は5,387百万円（前年同期比25.8%増）、セグメント利益は1,678百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、資産26,293百万円（前連結会計年度末比804百万円増）、負債6,709百万円（前連結会計年度末比365百万円減）、純資産19,583百万円（前連結会計年度末比1,169百万円増）となりました。

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金、たな卸資産の増加、受取手形及び売掛金の減少等により22,028百万円となり、前連結会計年度末に比べ890百万円増加いたしました。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、有形固定資産及び無形固定資産の減少、投資その他の資産の増加により4,265百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円減少いたしました。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、未払金の減少等により6,659百万円となり、前連結会計年度末に比べ365百万円減少いたしました。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は50百万円となり、前連結会計年度末からの増減はありません。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度の配当により利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益2,842百万円の計上により19,583百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,169百万円増加いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月10日発表の業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,155	15,119
受取手形及び売掛金	※ 5,428	※ 3,916
電子記録債権	※ 170	※ 178
有価証券	127	—
たな卸資産	1,168	1,449
その他	1,112	1,383
貸倒引当金	△25	△19
流動資産合計	21,137	22,028
固定資産		
有形固定資産	759	499
無形固定資産		
のれん	380	237
その他	1,329	1,357
無形固定資産合計	1,709	1,594
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,978	2,187
貸倒引当金	△96	△16
投資その他の資産合計	1,882	2,171
固定資産合計	4,350	4,265
資産合計	25,488	26,293
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,047	790
短期借入金	160	160
未払金	2,629	2,138
未払印税	1,322	1,270
未払法人税等	382	767
引当金	305	182
その他	1,178	1,348
流動負債合計	7,024	6,659
固定負債		
資産除去債務	50	50
固定負債合計	50	50
負債合計	7,074	6,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,128	1,128
資本剰余金	6,261	6,261
利益剰余金	13,017	14,136
自己株式	△1,936	△1,936
株主資本合計	18,470	19,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	0
為替換算調整勘定	△61	△8
その他の包括利益累計額合計	△61	△8
新株予約権	2	—
非支配株主持分	2	2
純資産合計	18,414	19,583
負債純資産合計	25,488	26,293

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	17,390	20,193
売上原価	7,689	9,609
売上総利益	9,701	10,584
販売費及び一般管理費	6,738	6,373
営業利益	2,962	4,210
営業外収益		
受取利息	14	25
為替差益	21	44
貸倒引当金戻入額	—	4
その他	2	1
営業外収益合計	38	75
営業外費用		
支払利息	0	0
債務保証損失引当金繰入額	8	—
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	10	0
経常利益	2,990	4,285
特別利益		
事業譲渡益	22	—
新株予約権戻入益	6	2
特別利益合計	28	2
特別損失		
固定資産売却損	2	—
特別退職金	—	※ 109
特別損失合計	2	109
税金等調整前四半期純利益	3,016	4,179
法人税等	990	1,337
四半期純利益	2,025	2,842
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,025	2,842
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	0
為替換算調整勘定	19	52
その他の包括利益合計	19	53
四半期包括利益	2,044	2,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,044	2,895
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(取締役に対する株式報酬制度)

当社は、中長期的な業績向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的とし、株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」を導入しております。当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。

(1) 取引の概要

当社は、取締役役に役員及び業績達成度等により定まるポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。

取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として退任時となります。

取締役に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分割管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付帯する費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度428百万円、500,000株、当第3四半期連結会計期間428百万円、500,000株であります。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権

四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
受取手形	6百万円	2百万円
電子記録債権	57	77

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※ 特別退職金

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

オンライン事業において人員体制の適正化に伴う事業の合理化を目的とした早期退職優遇制度の実施によるものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
減価償却費	1,046百万円	1,052百万円
のれんの償却額	142百万円	142百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間（自2017年4月1日 至2017年12月31日）

配当金支払額

2017年5月11日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

- | | |
|------------|------------|
| ① 配当金の総額 | 1,566百万円 |
| ② 1株当たり配当額 | 30円00銭 |
| ③ 基準日 | 2017年3月31日 |
| ④ 効力発生日 | 2017年6月5日 |
| ⑤ 配当の原資 | 利益剰余金 |

(注) 配当金の総額には、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式 (2017年3月31日基準日：500,000株) に対する配当金15百万円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年12月31日）

配当金支払額

2018年5月10日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

- | | |
|------------|------------|
| ① 配当金の総額 | 1,723百万円 |
| ② 1株当たり配当額 | 33円00銭 |
| ③ 基準日 | 2018年3月31日 |
| ④ 効力発生日 | 2018年6月4日 |
| ⑤ 配当の原資 | 利益剰余金 |

(注) 配当金の総額には、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式 (2018年3月31日基準日：500,000株) に対する配当金16百万円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	オンライン 事業	コンシューマ 事業	音楽映像 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,298	5,839	4,252	17,390	—	17,390
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	28	28	△28	—
計	7,298	5,839	4,280	17,419	△28	17,390
セグメント利益	902	1,608	1,409	3,921	△958	2,962

(注) 1 セグメント利益の調整額△958百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	オンライン 事業	コンシューマ 事業	音楽映像 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,897	7,913	5,382	20,193	—	20,193
セグメント間の内部売 上高又は振替高	11	—	4	15	△15	—
計	6,908	7,913	5,387	20,209	△15	20,193
セグメント利益	877	2,651	1,678	5,207	△996	4,210

(注) 1 セグメント利益の調整額△996百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
1株当たり四半期純利益	39円16銭	54円96銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	2,025	2,842
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	2,025	2,842
普通株式の期中平均株式数(株)	51,720,680	51,720,679
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載しておりません。

2 「株式給付信託(BBT)」制度に関する資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり四半期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前第3四半期連結累計期間500,000株、当第3四半期連結累計期間500,000株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。